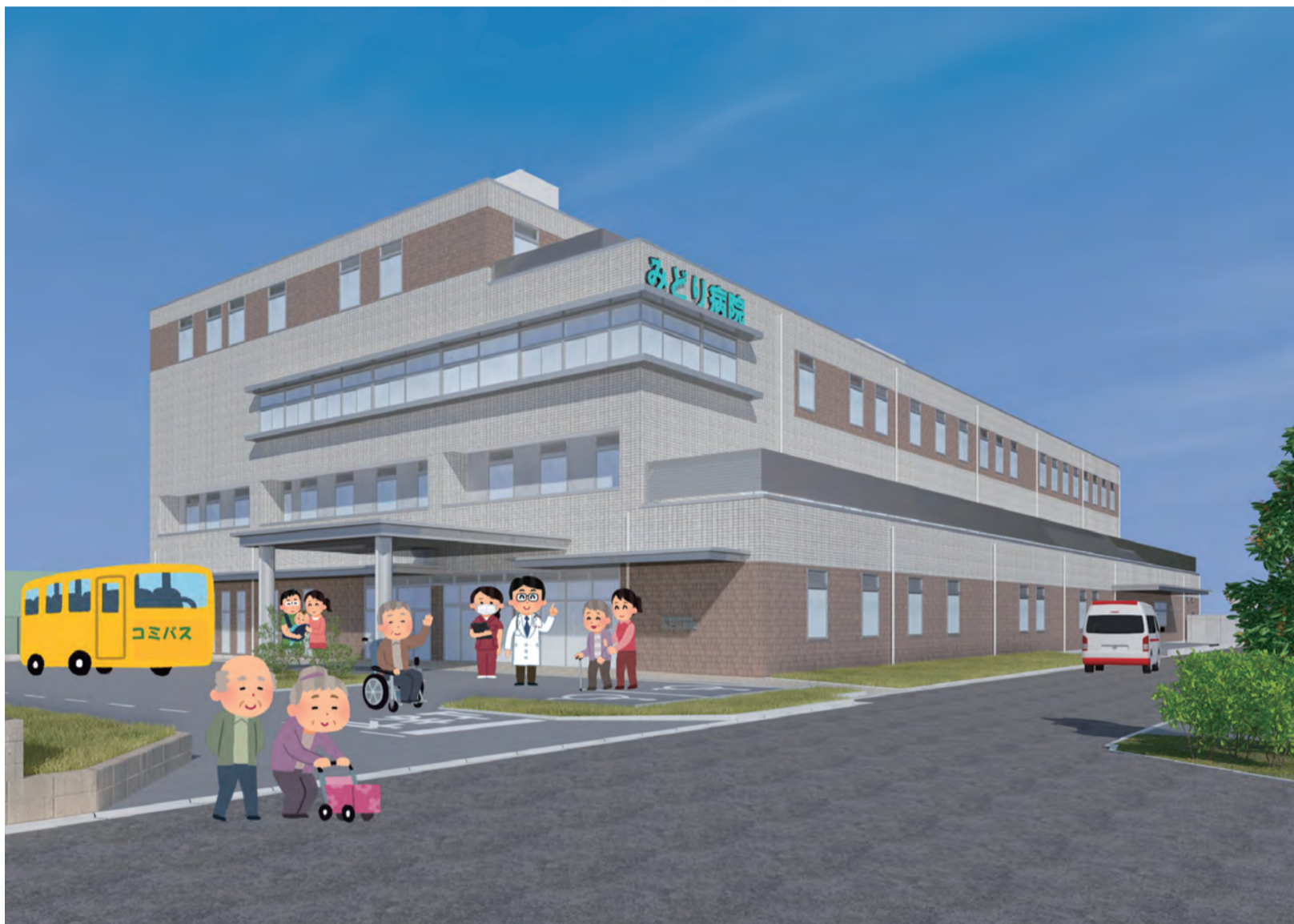


みどり病院リニューアル



※イメージ図です

昨年6月から開始した新病院建設プロジェクトでは、新病院建設委員会と、新病院建設運動推進委員会の2つの委員会を設置しています。職員が中心の、新病院建設委員会では、職員や患者さん、地域の方の意見要望を集め、基本計画および基本設計に反映させました。また岐阜健康友の会の役員さんが中心の、新病院建設運動推進委員会では、地域への説明会および地域からの要望意見を集約してきました。今回は新病院の基本計画と基本設計・外観イメージ図

ををご覧ください。新病院の移転予定地はすこやか診療所北側約4,000㎡とその周辺です。病床数は99床で4階建て、総延床面積は約6,500㎡の建物で計画します。また将来、構造変更を容易にできるよう鉄骨造(耐震構造)にします。

1階は、外来・透析機能
 2階は、一般急性期病棟・地域包括ケア病床・検査入院用病床
 3階に回復期リハビリテーション病棟・リハビリテーションルーム
 4階に内視鏡室と事務所機能や職員スペースを配置する計画です。

大地震や水害、新型コロナウイルスのような新興感染症への対策も想定し、設計していきます。

④地域社会に貢献できる活動をおこないます
 ⑤地域のニーズに合わせた医療を提供しながら、安定的な運営の継続を目指します

新病院のコンセプトは「地域にひらかれた、みんなにやさしい病院」その内容は、

- ①無差別・平等の医療と福祉を実践します
- ②差額ベッド代は徴収いたしません
- ③無料低額診療制度を積極的に活用します
- ④こどもからその親、高齢の方まで継続的に、生活を支えるための医療を提供します
- ⑤自宅や施設での生活を医療・福祉・介護の面から支えます
- ⑥高齢の方へのリハビリテーションを重視します
- ⑦少子高齢化・人口減少が進むこの地域の人々を孤立させない支援をします
- ⑧家族や知人、地域の方々に薦めたくなる病院を目指します
- ⑨質の高い医療・生活支援を提供します
- ⑩快適な診療環境(わかりやすさ、プライバシーへの配慮、ゆとりのある空間)を提供します

次に、新病院でおこなう重点的な医療活動です。

- ①24時間体制での軽度〜中等度の救急医療・急性期医療
- ②慢性疾患医療
- ③リハビリテーション
- ④在宅医療・訪問看護
- ⑤透析医療
- ⑥精神科医療
- ⑦疾病予防(健康診断・岐阜健康友の会との共同)

2021年5月	基本計画・基本設計の確定
2022年5月	実施設計(詳細図面)の確定
8月	建築工事着工
2024年3月	竣工
5月	開所

地域の皆様のご意見やご要望も伺いながら、共同で新病院の建設をおこなっていきたく考えています。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いたします。

(みどり病院 事務長 大橋正和)

健康

春秋

絶対にやめるべきだという事業が、自民党政治の下で増えています。沖縄での辺野古新基地建設、リア新幹線、東京オリンピック、それに原子力発電等々、あげれば切りがありません。▼ところで、これらのやめるべき事業に共通点がいくつかあります。まず莫大な資金の必要です。辺野古では軟弱地盤のための補強工事が必要になっています、また埋め立てに使う土砂の県内調達では、その土砂の中に大量の骨、終戦間際に発生した沖縄戦の犠牲者の骨を、埋め立てに使うということは、沖縄の人々への二重の冒瀆でもあります。▼そしてリア新幹線、その長いトンネル工事が発生した、大量の土砂の処理の問題。静岡県知事の反対で頓挫していますが、これら巨大事業が、国民の意思を無視し、多くの困難を抱えています。そして東京オリンピック、国民の八割近くが反対延期を求めているのに、強引に進められようとしています。その背後にあるのは巨大な利権構造です▼IOCバツハ会長の「犠牲を」という、恐るべき発言が飛び出しました。何のためのオリンピックなのか、一人でも犠牲者を減らすべき、コロナ禍で自粛生活が強いられる中で、この発言は国民の感情を逆なでするものであり容認できません。▼当初予算から億単位で大幅に増えている資金のおおもとは国民の税金です。お金の使い方が間違っています。この状況を変える唯一の方法は、総選挙で自民党に投票しないことです。(K)